

令和4年度九州大学法科大学院入学者選抜試験

試験問題

論文試験

(注意事項)

- 1 本試験問題は指示があるまで開かないこと。
- 2 本試験問題は（この表紙と白紙を除き）10頁、解答紙は2枚である。「始め」の合図があったら、それぞれ確認し、解答紙のすべてに受験番号を記入すること。
- 3 解答文は横書きとし、所定の解答欄に記入すること。
- 4 論文試験の筆記具は、B又はHBの鉛筆又はシャープペンシルを使用することとし、それに従わない答案は採点しないことがある。
- 5 ラインマーカー及び色鉛筆の使用は、問題検討のために、問題用紙及び答案構成用の下書き用紙に限り許可する。
- 6 採点は45点（30%）を最低合格ラインとして設定する。

〔文章 1〕 〔文章 2〕 をよく読んで、問 (1) ～ (4) に答えなさい。

【出典】

アマルティア・セン (著)＝大門毅 (監訳)＝東郷えりか (訳)『アイデンティティと暴力: 運命は幻想である』 (勁草書房・2011 年) 16-25 頁。

なお、問題の作成に当たり、原典の文章を一部加工している。

【出典】アミン・マアールフ (著)＝小野正嗣 (訳)『アイデンティティが人を殺す』 (ちくま学芸文庫・2019 年) 41-49 頁。

なお、問題の作成に当たり、原典の文章を一部加工している。

問 (1) 〔文章 1〕 の傍線部①および〔文章 2〕 の傍線部③につき、なぜこれらの論者はアイデンティティが殺人につながると考えているか。両方の文章から具体例を挙げつつ 500 字以内で説明せよ。

【配点：50 点】

問 (2) 〔文章 1〕 の傍線部②について、「コミュニタリアンの思想家の多く」の考え方を、筆者はどのように批判しているか。「コミュニタリアンの思想家の多く」の考え方と筆者の考え方との違いがわかるように、150 字以内で説明せよ。

【配点：20 点】

問 (3) 〔文章 2〕 の傍線部④について、筆者が述べる懐疑主義とはどのような考え方で、またそれに対し筆者はどのような批判を加えているか。200 字以内で説明せよ。

【配点：20 点】

問 (4) 〔文章 1〕 および〔文章 2〕 の筆者らによれば、アイデンティティによる殺人を防ぐためには、アイデンティティにつきそれぞれどのような考え方が望ましいと考えているか、その異同を説明せよ。そのうえで、それらいずれかの考えに従いあなた自身のアイデンティティを定義すればどのようなものとなるか。600 字以内で述べよ。

【配点：60 点】